



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第6号
平成30年10月17日
校長 松丸 晴美

「自分の考えをもち、伝え合う力の育成」

今月初め、京都大学特別教授の本庶 佑（たすく）先生がノーベル生理学・医学賞受賞に決定したという大変嬉しいニュースが入ってきました。テレビや新聞で報道された本庶先生の言葉の中で印象深かったのは「教科書を疑え」と「ネイチャーやサイエンス誌に掲載されている論文は信じない」というドキッとするような言葉です。これは、「自分の目で確認できることをやる」、「自分の頭で納得できるまでやる」という、先生の研究に臨む姿勢、こだわりから発せられた言葉だと思います。

とかく私たちは、何か知りたいことがあると、すぐにインターネットで検索し、そこから得た情報を鵜呑みにしがちです。しかし、中学生にとって、教科書に書いてあることを一つ一つ疑っては勉強になりません。では、私たちはどうしたらいいのでしょうか？たぶん、本やインターネットから得られる情報や知識を簡単に信じることなく、まず自分の頭で考え、探究してみるという姿勢が大切であるということではないかと思います。

3年後の2021年から新しくなる学習指導要領では、21世紀に必要となる資質・能力を3つの柱として示しています。1つ目は「学びを自分の人生や社会に生かそうとする力」です。2つ目は「生きて働く知識や技能の習得」です。そして、3つ目は「未知の状況にも適切に対応できる思考力・判断力・表現力」です。これは、判断の根拠や理由を明確に示しながら自分の考えを述べることや自分の判断や行動がよりよい社会づくりにつながるという意識をもつという点で、日本の子どもには課題があるというところから柱がたてられています。

本校の生徒の多くはよく学びます。特に知識の習得や活用については各種の学力調査においても良好な結果が示されています。しかし、「自分の頭で考えて判断し、探究する力」や「自分の考えを人に伝える表現力」となると、まだまだ伸びしろが大きいなあと感じます。

本校では、まず授業を通して、「考える力」や「伝え合う力」の育成を図っていかようとしています。各教科の授業では、すべてを教師の説明によるのではなく、課題を提示し、班で話し合わせたり相談させたり、ワークシートに自分の考えを書かせるなど学習形態や指導方法の工夫を試みています。しかし、幼い頃から「自分意識」をもつよう教育される欧米と異なり、集団やチームでの活動を大切にしている生徒は「人と違う自分を出す」ことに一歩を踏み出す勇気がなかなか出ないようにみえます。そこで今、特に力を入れているのは道徳の授業改善です。教科の学習とは違い、道徳には正解はありません。知識や技能の定着を確認するためのテストもありません。従って、教科の時間よりは、生徒にとって、テーマについて考え、互いに伝え合うことが容易なのではないかと考えています。教師の語る時間を極力少なくし、生徒が自分の考えをもちやすいように、的確な発問ができるよう研究しています。加えて、生徒同士の協議が活発に行われるようグループの人数を少なくし、意見を出しやすいように工夫しています。学校全体で、道徳の授業改善に着手してから1年近くが過ぎようとしています。生徒自身の自己評価はどうなのでしょう？2月には学校の取組の成果を広く発表します。保護者・地域の皆様にも、生徒がどのように育っているかぜひ参観していただきたいです。

職場体験

2 学年担当 高西 俊一

9 月 13 日（木）、14 日（金）に 2 日間にわたり、2 年生は、「職場体験」を行いました。これは、総合的な学習の時間の一環として例年、周辺地域をはじめとしてさまざまな事業所にご協力いただいて実施しております。本年度は、96 カ所の事業所にご協力いただきました。ご協力いただきました事業所の皆様、地域の皆様、保護者の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



生徒たちが体験した職種・業種も、農業・造園業から、商店・飲食業、保育園・幼稚園、医療機関・福祉介護施設、さらに都庁等の公共機関など多岐にわたりました。

5 月の運動会後から、本格的に取り組みを始め、「総合的な学習の時間」で、1 年生からの学習内容を踏まえ、以下の内容を学習しました。

- ・働くことの意義や目的
- ・世の中にある「仕事」（職種・業種について知ること）
- ・自分の個性や特徴を知る



さらに、それを受け、自分の体験してみたい職種・業種を選択し、具体的な職場体験先事業所を決定しました。その後、

- ・体験先事業所の業務内容等を調べる
- ・「自己紹介」の文を作る
- ・体験先事業所に自ら連絡して、事前の打ち合わせを行う



などの活動を行いました。また、合わせて、池袋ハローワークの方にゲストティーチャーとしてご来校いただき「ビジネスマナー」についての講演・ご指導をいただきました。

職場体験後は、

- ・体験先事業所へのお礼状の作成と送付
- ・「職場体験新聞」の作成、プレゼンテーションのスライド作成

を行いました。さらにこれから、クラスでの発表会、学年での発表会を予定しております。

生徒の感想（一部）

■「私は今回の職場体験を終えて学んだことは、『仕事の大切さ』です。実際にやってみて仕事の厳しさを身にしみて感じました。また『働くことの楽しさ、やりがい』も知ることができたと思います。」（女子 造園業）

■「園児たちを静かにさせることが大変だった。幼稚園の先生方がいろいろな準備をしていることがわかり大変そうだった。」（男子 幼稚園）

■「大変だったのは、声を出すことです。1 日目は恥ずかしくてあまり声が出せませんでしたが、2 日目には声を出すことが楽しくなってきました。」（女子 飲食店）

事業所からの声（一部）

■「体験に来た生徒さんの積極性や対応力は一緒に働くスタッフも高く評価しておりました。」（飲食店）

■「積極的に子どもたちに関わり、いっしょに遊んでくれて助かりました。」（幼稚園）

■「サービスを利用されている方々は、中学生と接することが少ないのでよい機会となりました。ゲームや体操などに一緒に参加していただき、喜んでいただきました。」（福祉施設）

まとめとした「職場体験新聞」は、2月9日（土）に予定しております「展示会」に展示いたしますので、是非ご覧ください。



茶道体験

3学年担当 半田 美佳

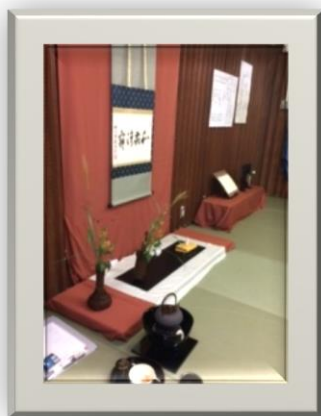
9月11日（火）、12日（水）に国際理解教育の一貫として、裏千家という茶道の流派で精通している福崎先生をゲストティーチャーとしてお招きして3年生の茶道体験を行いました。PTAの皆様にもお手伝いご協力いただきました。多目的室を茶室に仕立て、掛け軸や季節のお花を飾り、まるで生徒たちをお客様のようにもてなしていただきました。

授業の中では、「もてなしの文化」・「和敬静寂」について教えていただき、生徒たちは、相手に気持ちよく過ごしてもらいたいという気持ちや思いやりについて学びました。福崎先生は、普段の生活や修学旅行にも生かしてほしいとお話されていました。その後の体験では茶筌を使ってお茶を泡立て、おまんじゅうをいただいてからお茶を楽しみました。

勉強漬けの3年生にとって、一息ついてお茶と日本文化を楽しむ1時間になりました。



説明を受ける



お茶を点てる

お茶を運ぶ



礼をつくす

お茶をいただく



確かな学力の定着・向上を図る ～「全国学力・学習状況調査」の結果から～

教務担当 白川 恒

4月中旬、3年生を対象として「全国学力・学習状況調査」（文部科学省 国立教育政策研究所）が実施されました。この調査は、学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善などに役立てることを目的とした調査で、今年度は「国語」「数学」「理科」「質問紙（学習意欲や生活などに関する質問）」の調査がありました。当日は、全国（公立・国立・私立あわせて）約100万人の中学校3年生が調査に参加しました。

今回、調査結果の分析がまとまりましたので、本校の状況を中心にお知らせいたします。

「国語」「数学」「理科」いずれも東京都の平均正答率を上回る結果

本校の平均正答率は下表のとおり、東京都の数値を上回っており、概ね良好な結果でした。

		本 校	東京都 (公立)	全 国 (公立)
国 語	A 主として知識	79	77	76.1
	B 主として活用	67	63	61.2
数 学	A 主として知識	70	67	66.1
	B 主として活用	50	49	46.9
理 科	主として知識	66	65	67.9
	主として活用	68	65	64.9

数値は平均正答率(%)

正答率の低かった問題を含む領域（単元）の指導改善を図ることはもとより、確かな学力の定着・向上を目指して「授業改善推進プラン」を全教科で作成しました。今後このプランに基づいて全ての教科で授業改善に取り組んでいきます。「授業改善推進プラン」は後日、学校ホームページに掲載の予定です。

本校3年生は「朝食を毎日食べている。」「毎日、同じくらいの時刻に起きている。」割合が高い

「朝食を毎日食べている。」割合は、本校 85.9%、全国（公立）79.7%、「毎日、同じくらいの時刻に起きている。」割合は、本校 61.5%、全国（公立）55.9%であることが「質問紙」調査の結果から明らかになっています。

毎日朝食をとる生徒ほど、学力調査の得点が高い傾向にあることは、以前の調査からも明らかになっており、学力向上のためのキーワードとして「早寝・早起き・朝ごはん」がよく挙げられます。

ご家庭におかれましては、日頃からお子さまの健康管理や規則正しい生活のためにお力添えをいただき、大変ありがとうございます。今後ともよろしくお願いたします。

「自分には、よいところがある。」本校 27.8%、全国（公立）33.7%、「将来の夢や目標を持っている。」本校 42.4%、全国（公立）45.3%

全国と比べてやや低い結果になりました。学級活動や生徒会活動、学校行事などの諸活動を通して成功体験を積みせたり、自己肯定感を高めたりするような体験や、褒めたり励ましたりする声かけを行う工夫を、学校としてさらに重視していきます。また、夢や目標を持つことの大切さに気づくことができるよう、指導の工夫を図っていきます。

ご家庭におかれましては、お子さまと将来について対話する時間を、より一層大切にいただければ幸いです。

正答率の低かった問題について

■国語A

- ・目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書く。
- ・書こうとする事柄のまとめや順序を考えて文章を構成する。
- ・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う。

■国語B

- ・登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てる。
- ・質問の意図を捉える。
- ・場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する。

■数学A

- ・ひし形は、線対称な図形であり、点対称な図形でもあることを理解している。
- ・一次関数 $y=ax+b$ について、 a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している。
- ・与えられた資料から中央値を求めることができる。

■数学B

- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる。
- ・事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明することができる。
- ・与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理することができる。

■理 科

- ・太平洋高気圧（小笠原気団）の特徴についての知識を身に付けている。
- ・電流計は回路に直列に接続するという技能および電流計の電気用図記号の知識を身に付けている。
- ・シミュレーションの結果について考察した内容を検討して改善し、台風の進路を決める条件を指摘できる。

「第2学年 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査」「第3学年 練馬区学力調査」の結果

●平成30年度 第2学年 東京都児童・生徒の学力向上を図るための調査結果

	A 教科の内容		B 読み解く力に関する内容		A と B の合計	
	石西中	東京都	石西中	東京都	石西中	東京都
国語	75.7%	73.8%	73.0%	69.6%	75.3%	73.1%
社会	65.1%	63.3%	52.5%	52.1%	62.4%	60.9%
数学	59.4%	56.8%	50.2%	43.9%	57.1%	53.6%
理科	53.4%	54.3%	49.5%	50.1%	52.5%	53.3%
英語	69.3%	58.9%	50.5%	45.5%	64.9%	55.8%

●平成30年度 第3学年 練馬区学力調査結果

	社 会〔地理〕〔歴史〕			英 語		
		基 礎	活 用		基 礎	活 用
石西中	53.3%	53.5%	52.4%	70.1%	75.8%	55.9%
練馬区	53.4%	53.8%	51.6%	67.0%	72.3%	53.7%
全 国	56.7%	57.9%	50.6%	58.9%	65.3%	43.1%

○具体的な授業改善策（後日ホームページに掲載予定のものからの抜粋）

国 語	<p>【2年】課題をチェックすることで状況を把握し、必要な補充的学習を行い、教科書の発展的課題に取り組みさせる。長期休業中に言語事項に関して補充的学習の機会を設ける。</p> <p>【3年】知識の定着のための小テストをくり返し行う。生徒自身の生活体験の中に類似した場面があれば重ねて考えさせ、登場人物の心情を想像させることで読解の力を育む。</p>
社 会	<p>【2年】白地図等を活用して学習意欲を高める。理解の状況に応じた指導をしていく。生徒同士で学び合い理解を深める授業を行う。資料を取捨選択する能力を、班の話し合い活動で身に付けさせる。</p> <p>【3年】3学期には地理・歴史・公民的分野の総まとめを行う。毎日の授業については、資料映像のなかから、関連内容について適切でしかも中学生の視点で印象深い作品を選んで提示をしていく。</p>
数 学	<p>【2年】理解が進んでいる生徒とのグループ学習を取り入れたり、補習を入れたりして、学力向上を図っていく。章末などで発展的な内容を扱い、グループで解決する活動を取り入れたい。</p> <p>【3年】特に定期考査前など、質問教室を設け、授業の補充を出来るようにする。単元の導入や応用問題において、発展的な内容を扱いたい。また、4人グループ学習や発問の工夫をしていく。</p>
理 科	<p>【2年】既習事項を確認しながら教科書等の発展課題を取り上げ、実験・観察や演示実験等により関心、意欲を高める。個別の課題を設定し向上を図る。視聴覚教材等の学習教材を適宜使用し、更に意欲を高める。</p> <p>【3年】観察・実験を重視し、他の単元との関連を含めて振り返り学習により定着を図る。自然事象を総合的に捉え、科学的な思考力を伸ばす指導を取り入れる。基礎的事項の定着をはかる学習活動の回数を増やす。</p>
英 語	<p>【2年】毎日定期的に行う活動にて基礎を積み上げる学習を取り入れる。読むスピードなどに留意し、おおまかな内容をつかんでから内容把握につなげる指導を行う。ペアやグループでの活動を取り入れ、自分の意見を発信する時間を設ける。毎学期、発表活動に取り組む。</p> <p>【3年】夏期休業中や単元によって、補充的な学習教室を行う。ALTとの会話や手紙のやりとりなどで表現力を発展させる。</p>



防災訓練（引き取り訓練）

安全指導担当 野崎 秀太

9月8日（土）に「練馬区一斉防災訓練」がありました。本校では、「引き取り訓練」を行い、多くの保護者の方々にも避難訓練に参加いただきました。本当にありがとうございました。地震が起こった際は、「①物が落ちてこない、②物が倒れてこない、③物が移動してこない」場所で身を守ることが特に大切です。どのような場所においても、絶対に安全だということはありません。少しでも安全の可能性が高い場所で、身の安全を守ってください。

○夏休みに研修した「学校安全指導講習会」の話より

災害時に、自宅まで徒歩などで帰られる場合もあるかもしれませんが、無理に帰宅しないでほしいです。道が空いていることで、緊急輸送や消火活動などが早くできます。その日には、家族の方と会えないかもしれませんが、避難場所を確認しておけば、家族の方には会えるはずですよ。ご協力をお願いします。



引き取り訓練の様子

副校長 溝口 千里

引き続き午後は、練馬区震災総合訓練が行われ、区避難拠点要員と学校避難拠点要員（教員）が避難拠点開設訓練、防災倉庫内の確認、発電機の始動訓練等を行いました。11月には本校の避難拠点運営連絡会である元関町一丁目町会の皆さんと区防災課、区拠点要員による打ち合わせ会も予定しています。

認知症サポーター養成講座

3学年担当 半田 美佳

3年生は10月に、地域の14カ所の高齢者社会福祉施設にご協力いただき社会福祉の学習の一貫として体験学習をします。それに向けて、高齢者との関わり方や認知症について学ぶため、9月13日（木）に慈雲堂病院のオレンジ劇場のみなさんにお越しいただき認知症サポーター養成講座をしていただきました。講座で披露された寸劇の内容も「本校の生徒が体験に行く」設定で作っていただき、練習してきてくださいました。



また講座の内容は、高齢化社会や認知症のしくみについてのもので、分かりやすく教えていただきました。認知症は周囲のサポートによってその症状が和らぐ、認知症に理解のある地域は住みやすい地域、など身近な話が多くありました。

講座を受けた生徒の感想からは、「認知症は周りの対応次第で変わることがある、と聞いて自分もぜひ助けたいと思った」「今日学んだことを社会福祉体験に生かして、高齢者の方といい時間を過ごしたい」「おじいちゃんおばあちゃんに自分のことを忘れられていて、すごく悲しかったし少し怒ってしまったけど、今日話を聞いてよく分かったのだからこれからは理解してあげたいと思った」など普段の生活に生かしていけるような内容が多く見られました。

表彰の記録

第55回練馬区中学校生徒総合体育大会

ソフトテニス部 (9/16)

ソフトテニス新人大会女子個人 第3位 浅川・橋本組

バドミントン部 (10/14)

バドミントン新人大会女子ダブルス 第3位 福田・神戸組

陸上部

第30回東京ジュニア陸上競技大会(9/8～9)

男子共通 4×100m 第6位 46秒31 佐藤匠真、秋山陸、大井颯人、藤村慶弥
男子1年 4×100m 第4位 52秒13 小倉竜也、星野大和、中村悠人、橋本裕仁
男子1年 1500m 第3位 4分36秒53 中村悠人
男子2年 走幅跳 第7位 5m46 佐藤匠真
男子2年 走高跳 第1位 1m65 佐藤虹太郎
男子3年 200m 第4位 23秒79 藤村慶弥
男子3年 100m 第7位 11秒15 秋山陸

第55回東京スポーツ祭典陸上競技大会(9/29)

中学男子 1500m 第3位 4分36秒79 中村悠人
中学女子 走幅跳 第3位 4m53 宮川琴音
一般女子 200m 第2位 28秒47 高木星音
一般女子 800m 第1位 2分38秒73 西田麻沙
女子 4×100mリレー 第2位 54秒26 西田麻沙、中村愛花、渡邊凜織、高木星音
女子 4×100mリレー 第3位 54秒82 三浦リオ、宮川琴音、小川穂里、川崎啓子

第70回武蔵野市民体育祭秋季陸上競技大会(9/30)

女子中学1年市外 100m 13秒56 第2位 川崎啓子
男子中学1年市外 100m 12秒99 第2位 橋本裕仁
男子中学市外 1500m 4分33秒87 第2位 中村悠人
男子中学市外 走高跳 1m70 第1位 佐藤虹太郎
男子中学市外 200m 27秒95 第1位 高木星音
女子中学市外 走幅跳 4m21 第3位 上松香凜
男子中学2年市外 100m 12秒25 第1位 佐藤匠真
男子中学2年市外 100m 12秒34 第2位 飯高紘一郎
女子中学市外 砲丸投 8m63 第1位 中山鈴菜
男子中学市外 4×100m 50秒83 第3位 小倉竜也、星野大和、中村悠人、橋本裕仁
女子中学市外 4×100m 54秒60 西田麻沙、中村愛花、渡邊凜織、上田彩月

卓球部

練馬区区民体育大会卓球競技会(中学生の部)(10/6、7)

女子団体 第3位

女子個人 川村碧子 第1位 岩崎 泉 第2位

チアダンス (鈴木千夏)

USA All Star Challenge Competition 2018 EAST(7/21)

3 Junior 編成 Pom Prep 部門 第2位 D-life company+Y T.D.C Wave☆Star

連合陸上大会 (9/21) 祝 総合優勝 男子優勝 女子準優勝

駒沢オリンピック公園総合運動場陸上競技場にて、第56回練馬区中学校生徒総合体育大会陸上競技大会（連合陸上）が開催されました。本校からは陸上部員と有志選手、大会補助役員生徒、計72名が参加し、一日雨が降る中、一致団結し見事な成績を収めました！

以下の通り多くの個人賞も出ました。

1年男子 100m	第4位	星野大和	13秒02
1年男子 100m	第6位	橋本裕仁	13秒15
1年女子 100m	第1位	川崎啓子	13秒39
2年女子 100m	第2位	上田彩月	13秒15
3年男子 100m	第1位	下村健太	11秒40
3年男子 100m	第3位	秋山 陸	11秒53



共通男子 200m	第1位	藤村慶弥	23秒77
共通男子 200m	第6位	川口颯翼	24秒56
共通女子 200m	第1位	高木星音	27秒76
共通男子 400m	第4位	飯高紘一郎	57秒59
共通女子 800m	第1位	窪田こころ	2分31秒89
共通女子 800m	第5位	西田麻沙	2分36秒62

1年男子 1500m	第1位	中村悠人	4分35秒96
3年男子 3000m	第3位	道地涼介	9分56秒54
3年男子 110mH	第3位	大井颯人	16秒96
1年男子 400mR	第1位	51秒81	小倉、星野、中村、橋本
1年女子 400mR	第3位	56秒22	三浦、宮川、宮本、川崎
2年男子 400mR	第1位	48秒72	内田、飯高、佐藤、中村
2年女子 400mR	第2位	53秒67	西田、中村、渡邊、上田
共通男子 400mR	第1位	45秒40	大井、秋山、藤村、下村
共通女子 400mR	第4位	53秒96	伊藤、小川、窪田、高木



1・2年男子走高跳	第1位	佐藤虹太郎	1m60
1・2年女子走高跳	第3位	三浦リオ	1m25
3年女子走高跳	第3位	鈴木 萌	1m38
1年女子走幅跳	第4位	宮川琴音	4m46
2年男子走幅跳	第2位	佐藤匠真	5.92m
2年女子走幅跳	第5位	中村愛花	4m42
3年女子走幅跳	第4位	上松香凜	4m34

